



名張育成会の「今！」がわかる

MiRAi と MiRAi report そして 輪 プログ

「MiRAi」とは、名張育成会と地域を結ぶコミュニティブログ。
「MiRAiレポート」は、各施設からのスタッフ便り。
「Café 輪」ブログでは、メニューや催し物をご案内しています。

YOUブログMIRAI

MIRAIレポート 名張

YOUブログRIN

vol.43
2015.6.1発行

発行：名張育成会MIRAIプロジェクト
社会福祉法人 名張育成会 〒518-0615 三重県名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者：市川知恵子(社会福祉法人名張育成会) 編集責任者：男武正基(社会福祉法人名張育成会)
編集長：佐伯典昭(株式会社サンエイ) 編集デザイン主任：新井知子(株式会社サンエイ) 題字：千秋育子

“得意”を活かしてボランティア 地域活動支援センターひびき「音を楽しむ会」

優しく奏でられるメロディーにのせて、会場にいる全員が声を合わせて共に歌う。まさに“音”を楽しむ時間となっているのが、現在「ひびき」にて2カ月に一回定期的に開催されている「音を楽しむ会」だ。スタートから約4年を迎えるこの会はボランティアメンバーによって支えられている。

平成22年度・平成23年度に、精神障害に関する基本的な知識を学び、今後ボランティアとして関わっていく人を募ることを目的に、精神支援事業所主催で「精神保健ボランティア講座」を開いた。参加者の中に楽器の出来る人が数人いたため、講座後、参加型の歌う会を定期的に開催していただくことにしたのがこの会の始まり。メンバーの一人吉澤さんは「みなさんのカラオケ屋さんになれたらいいなと思って」と当時を振り返って笑う。

MEO48のみなさんに質問した。

☆この会のきっかけとなった「ボランティア講座」をなぜ受講しようと思ったんですか？

吉澤さん「子どもが聴覚障害者ということもあり、以前から聴覚障害者に関わるボランティアを続けてきましたが、私自身建築の仕事をする中で防災について考えるようになり、震災が起きた時、精神障害者、知的障害者の方たちをどうサポートすればいいのか。必要な事をもっと学びたいという思いを持ち受講しました」

千種さん「会社を定年退職したあとで、より自分を知りたいと思い大学で「心理学」を学び、認定心理士の資格を取りました。自分の学んだことが何かの役に立てばという思いで受講を決めました」

横山さん「会社を定年退職して、何かがやりたいと思っていた時に、講座の募集を知り、何かできることはないかという思いから応募しました」

☆今後どんな風に活動していきたいですか？

吉澤さん「地域と一緒に暮らす我々が、利用者さんの顔を覚え、またこちらも覚えてもらうことを大切に、これからも自然体を目指していきたいです」

千種さん「これからもいろんな形で「音」を楽しんでもらえるように、何よりもまずは自分が楽しみながらレパートリーを増やしていきたいです」

横山さん「みなさんの笑顔を見るのは本当にうれしい事。これから



バンド名は「ミュージック、エンジョイ、オッサン」の略でMEO48。
チェロ担当の吉澤敏夫さん(現在伊賀コミュニティオーケストラメンバー、最近まで合唱団もずっと続けていた)。オートハープ、フルート、フラットマンドリン担当の千種啓義さん(現在大阪フィルハーモニー合唱団メンバー)。ギター担当の横山一夫さん。(今回ギターの熊代哲夫さんは欠席)全員名張市在住。

も頑張って練習してできるだけこのメンバーで続けていきたいです」

さすがは人生経験を重ねてきたみなさんだけに、答えはそれぞれ個性的だ。しかし共通しているのは「自分の出来る事を活かしたい。地域住民として貢献したい」という思いだった。

スタート当初から参加してきた利用者のお一人は「知っている曲だととても嬉しくて楽しく歌ってます。最近では当日までに歌詞を調べておいて、当日それについてみんな意見交換するのが楽しみです。」と開催日が待ち遠しい様子だった。

メンバーはこの活動以外に、吉澤さんは切り絵のお手伝い、千種さんは天体観測講座の講師などを務める時もあり、横山さんはスポーツやゲームによく参加して、利用者のみなさんからお兄さんの存在とし

て慕われている。また、ボランティア講座の他の受講者の中には、ひびきにて絵画教室の講師を続けている人もいて、それぞれ得意分野を活かしてボランティア活動をしている。

得意なことを活かした活動で地域での交流が広がり、自分を活かす場所がさらに広がっていく。生き生きと楽器を奏で歌い上げるボランティアのみなさん、そして参加する利用者のみなさんの、キラキラとした瞳がとても印象的だった。

みなさんも名張育成会で、得意なことを活かして利用者さんと交流しませんか？
どんなことでも結構です、利用者さんに様々な経験をしていただく機会をつくるためあなたの力を貸してください。名張育成会ではボランティアさんを募集しています。
問い合わせ：経営企画室 貞安(さだやす)
電話：0595-65-0271、
メール：sadayasu@n-ikuseien.jp

(文) 田口知恵子
コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。名張市在住。



歌の合間のトークも面白く、常に笑い声が絶えない。

名張育成園の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から
 選り抜きの話題をご紹介します。
 詳しくは、ブログをご覧くださいね!
<http://www.you-blog.jp/blog/mirairereport/>

入所生活支援(成美) なにげな〜い休日。

今日は成美の「なにげない」休日の様子をお伝えします。天気が良かったある日、皆さんウッドデッキに集まって日向ぼっこ。ぽかぽか陽気に心も体も癒されていきます。また元気ハツラツ!バスケットボールを楽しむ人も「よーし絶対かぞー」と皆でフリスロー対決です。よく狙ってシュート!!...このシュートが決まったかどうかご想像におまかせしたいと思います(笑)



TEL:0595-65-4518 E-mail:seibi@n-ikuseien.jp
 ★MiRAiレポートブログの「入所支援グループ」をクリック下さい。

ホームヘルプサービス(ゆーゆ)

恐竜に会ってきたよ!



先日、ご兄弟の余暇支援で恐竜に会ってきました!今回は主任から「恐竜見に行く?」と提案が。それだ!という事で、大阪での恐竜展へ行くことに。当日はヘルパーも真剣そのもので「あれ見て、あれ!」と、ご兄弟よりもヘルパーが興奮していたりして(笑)と、突然後ろから彼らを狙う恐竜発見!...ですが、どうやら彼らの目には違う恐竜が気になって仕方がない様子。そうやってじっくりと楽しんだ後「よかった!!」と満面の笑み!今日一日、恐竜に大興奮な一日でした!

TEL:0595-65-0874 Email:yuyu@n-ikuseien.jp
 ★MiRAiレポートブログの「ホームヘルプ支援グループ」をクリック下さい。

レインボークラブ バーベキューをしました。

良いお天気にも恵まれたGWまっただ中、河川親水公園に隣接し、とても環境の良い長瀬公園でバーベキューを行いました。まず全員が到着したところで炭を起し、火が回る間に材料を準備して、ぼちぼち始めましょうか〜という掛け声で焼き始めます!お肉や野菜がおいしそう!もう一方のコンロでは、お決まりの焼きソバが出来上がり。五月晴れの空と、鮮やかな新緑に囲まれながら、久しぶりの屋外活動にみなさん大満足の様子でした!



レインボークラブ
 (就労継続支援事業B型)
 TEL:0595-67-4188
 E-mail:rainbowclub@n-ikuseien.jp
 ★MiRAiレポートブログの「精神保健支援グループ」をクリック下さい。

監修:名張育成会広報委員会、作:田口知恵子(名張市在住)、イラスト:柴吟子(名張市在住)※この作品は著作権法などで保護されています。無断複製、転載、一部流用などを禁じます。お問合せ:shiori@n-ikuseien.jp 男武まで

いつつ星★物語

これは、グループホーム「いつつ星」の個性豊かな住人たちが、支え合いながら、その人らしく輝いて暮らしていく物語です。

第6話 なんどもなんども

グループホーム「いつつ星」では、個性豊かなメンバーと一緒に生活をしています。

さて今日は土曜日、お仕事もお休みです。週末を自宅で過ごすメンバーもいますが、今週末はサイゾウ君とリスボンちゃん、そしてラーラちゃんがホームで過ごします。

さて、いつも笑顔のラーラちゃん。今日も支援員の乾さんに近づいて「今日クッキー買ってもいい?」とニコニコ。するとサイゾウ君が「また始まった」とお部屋に入ってしまった。「ラーラちゃん。今お小遣いどれだけ残ってる?」と乾さん。財布を出して「これだけ」と見せたのはもう小銭が数枚でした。「ね。昨日の最後まで言ったよね?もう今月はクッキー買えないのよ。」と諭すと、「あ、そうだったね。」と納得したかのように見えました。

ところが、今度はリスボンちゃんに「クッキー買いたいんだけどな〜」と話しかけてきました。「...ついさっき、乾さんがダメって言ってたじゃない」と言うと「あ、そうだった。そうだった。」とまたうなづきました。

しばらくして、リスボンちゃんがお部屋でくつろいでいるとトントンとノックの音が... ドアを開けるとラーラちゃんが「クッキーが欲しいの」と真剣なまなざしです。「だってもうお小遣い残ってないでしょ?」リスボンちゃんはため息です。「あ、そうだったね。」とラーラちゃんはドアを閉めかけました。ところが、「あ...そうそう、私ね。クッキーが欲しいのよ」再び真剣に言うのです。「...でも...私は持ってないよ」それを聞くと「うん、わかってるわかってる。」とドアを閉めました。

そしてまた、夕御飯を食べ終わるとすぐに「クッキーが買いたい」とリスボンちゃんに話しかけてきます。サイゾウ君は「また始まった」とまたまたお部屋に入ってしまった。リスボンちゃんはもうどうしたらいいかわからなくなり「もう〜!!しつこい!!」と気持ちが爆発してしまいました。

ラーラちゃんは、周りから見るととてもしつこく頑固な女の子に見えるのですが、本人は決して悪意を持っているわけではなく、自分の思いを伝えようと懸命なのです。ただ、繰り返し気持ちを言うため周りの方から誤解を受けたり、それが元でトラブルになったりしてしまうこともあり、それが本人の生き辛さにも繋がっています。こんな時は、言われたことに根気よく向き合う事もひとつですが、代わりのもので繰り返される気持ちを埋めてあげることも支援のひとつになっています。



この物語の舞台、グループホーム「いつつ星」

この物語の主な登場人物...いつつ星の五人の住人



おさるのモンタくん



コアラのラーラちゃん



リスのリスボンちゃん



サイのサイゾウくん



ひつじのめ〜こさん

乾さんは「リスボンちゃん、ラーラちゃんの話聞いてくれてありがとうね」と気遣いつつ、ラーラちゃんには「来月になってお小遣いが入ったら買いに行こうね」と今日何度も言った言葉をかけました。すると「うん、そうね。わかった。」とまたまたうなづくののです。

次の日は日曜日。ラーラちゃんは乾さんにニコニコしながら近づいて「クッキー...」と言いかけてきましたが乾さんが「そうだ!今日はお買いものじゃなくお散歩に行きましょう」と誘いました。するとラーラちゃんは目を輝かせて一目散に玄関に行きました。「ラーラちゃん、お買いものじゃないよ、散歩だよ」乾さんが念を押します。「うん、わかってるわかってる」と言いつつ、玄関を出るとすぐに「乾さん、帰りにクッキーを買いに行こう」

乾さんはもうそれには答えずに言いました。「ほらラーラちゃん、いいお天気!」

今夜は自宅に帰っていたメンバーもいつつ星に戻ってきます。今度はどんな一週間になるのでしょうか?

